

平成28年度 友愛会事業報告

友愛会本部

1. 活動目標

*法令を遵守し、信頼され、透明性のある、適切な法人運営に努める。

*本部機能を充実させ、職員が働きやすい職場づくりを行い、士気の向上に努める。

2. 実施項目

1) 理事会、評議員会

①責任ある事業執行、明確な経営管理

②重要な事業や運営について検討・協議、情報交換

・理事会 8回 評議員会 4回 実施

・内部監査の実施

③役員研修会の開催

実施していない

2) 経営体制の安定化

①それぞれの事業所がサービス低下することなく、安定した運営ができるよう業務の見直しを行う。

各事業所で各種会議を開催し、検討・協議・実施を行ってきたが、見直しも十分ではなく、利用者の低迷もあり、経営的にも苦しいものがあった。

②人事・労務管理体制の整備（一本化）

不十分であった。

③広報・啓発活動（情報公開・広報誌・各学校訪問等）

「愛寿園だより」の発行（2回）

インターネット上への情報公開、学校訪問実施

④事業所の連携強化（定期的な本部会議開催）

本部会 1回実施。2施設とも、支払いについて引き落としとし合理化する

3) 人材の育成

①人事交流の実施

調理職員2名・介護職員1名異動実施

②職員研修（各研修会への参加、新人研修の充実、園内研修の実施）

各施設事業報告にて報告

③合同職員会の開催（情報の共有、意識統一）

3月 実施

④資格取得の推進

ケアマネ試験対策講習参加・介護福祉士実務者研修参加（愛寿園）

⑤人材確保（役職員全員で取り組む）

学校訪問（看護大学・短期大学・専門学校・高校）

就職フェア（松江・出雲・雲南）

ジョブフェア（飯南高校）

ホームページにての求人

⑥職員の思いの共有（目標の設定、個人面談実施等）

2・3月実施

⑦雇用形態における就業内容に従った、職員雇用を行う

パート職員業務内容による賃金の支給開始

4) 町内の老人介護施設との連携・協力体制の強化

包括推進局福祉部会・福祉施設協議会管理者会が発足、活動開始。

5) 飯南病院との連携・協力体制の強化（連絡会議の開催等）

合同研修会・勉強会の実施

6) 地域の方を交えた研修会の開催

9月 「スキンケアについて」研修会開催（健康福祉センターにて）

7) 事故、苦情等への迅速適切な対応

迅速な対応ができた。

8) 衛生管理の徹底による、各種感染症予防

職員個人用消毒液配布（愛寿園）

研修等行い、知識の習得・意識の向上を図った。

9) 施設の老朽化による不具合が生じやすいので、利用者様への負担・運営

の停滞を招かないよう、施設・機器の管理を行う。

不具合の発生は多々あるも、利用者への大きな支障はなかった。

友愛会長期計画による各事業所の運営

1) 愛寿園建て替え計画の進行

建て替えに向けて、町との協議開始

2) 琴引の里修繕 優先順位を決め着手

エアコン（一部）・外壁・中庭ボードウォーク修理

平成28年度 愛寿園事業報告

1. 運営方針

理念を念頭に置き、「社会人として立派な人材の育成」「利用者、家族様とともに一緒になって歩む」そして「施設だからできないことがないよう」職員一同、力をあわせて、職員も利用者様も居心地のいい施設を作る。

2. 行動目標

* 明るくあいさつと、誠実な対応

* 施設は「チームケア」である。各職種が専門性を生かし、情報を共有し、互いに切磋琢磨する。

3. 実施項目

1) 「愛寿園のケア」の推進

① 利用人数の検討、決定（常に検討し受け入れを行う）

職員数を見ながら入所定員を決め受け入れをしていたが、12月から1月にかけて死亡退所が多く、反対に待機者は少ない状態となり、入所数の低下となった。

<利用状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	稼働率
施設	73.8	74.0	74.7	74.4	73.7	71.6	72.2	69.2	66.5	64.0	64.0	59.5	69.8	87%
短期	6.8	7.5	7.7	6.7	6	6.5	4.7	6.7	7.1	6.8	9.3	8.9	7.1	79%
通所	15.2	15.0	15.0	14.0	13.1	12.9	12.6	12.0	12.8	12.7	12.4	14.7	13.5	75%
居宅	66	67	66	68	66	66	63	64	65	65	63	64	65.3	93%

② 職員同士互いを尊重しあい、各部署で常に振り返りを行い、業務の改善を図る。

企画・運営会議 → 毎月

各部署会議、各委員会会議、各号棟会、リーダー会 → 定例

③ 病院との連携を強化し、信頼関係を築く（情報の共有）

地域包括介護福祉部会・調整会議への参加。

喀痰吸引実地指導（飯南病院）

④ 家族様との連絡を密にし、情報や思いを共有する

個々の思いを叶えることのできるケア計画の策定を行い、自宅などへの外出・外泊等の実施や看取り（退所者18名内看取り8名）の実施。

担当者会への家族様の参加の増加。

⑤ 「予防」に力を入れる

感染予防として、ケアにあたる職員全員、消毒液・グローブを手持ちとした

事故防止として、ヒヤリハット、事故報告の徹底と検討の実施。
研修会の実施。

2) 職員の資質の向上を図り、意欲を高める

①県内外の研修会への参加（参加後、研修発表会の開催）

施設内研修

月	日	内 容
4	26	嚙下勉強会
5	25・26	事故防止研修会
	31	褥瘡予防研修会
6	15・16	感染対策研修会
	24	「個の自分と向き合う」
7	14・15	身体拘束研修会
	22	「チームの中の自分と向き合う」
	27	排泄勉強会
8	19	「最高の愛寿園を考えよう」
	23・24・26	救急法
9	29	褥瘡予防研修会（講演会）
10	4・27	防犯研修会
	7	感染対策研修会
	12・20	事故防止研修会
		介護用リフト研修
11	11	感染対策研修会

施設外研修

県 内	44 件
県 外	4 件

②個々の目標設定、自己評価、他者評価、個人面談を行う

2～3月実施（ストレスチェック実施）

3) 地域とのつながりを強化し、情報発信に力を入れる

①地域の美化活動を行う

職員で国道54号エルシィ前花壇の手入れを年間通じて行った。

②イベントへの参加、受け入れ

健康祭り、地域ケアフォーラムに参加（展示、発表）

夏祭り（花火大会）、敬老会に地域の方来園

③小学校・中学校・高校生徒への福祉学習の推進

とんばら探検隊の活動（公民館主催）での講師

④介護者の集まり（友愛会の事業所利用者）の開催

「かぞくのつどい」 10月、12月 実施

「かぞくのつどい通信 1号」の発刊

⑤公民館での「長生き体操」（体操＋買い物）実施協力

12月より毎週1回 計15回

⑥子供たちへ施設の開放

夏休みや休日、放課後に開放 7名利用

⑦実習受け入れ

月	日		人数
5	2～	島根リハビリテーション学院	1名
	23・24	飯南高校福祉体験学習	6名
6	2	認知症実践者研修（交換研修）	1名
7	4～29	島根リハビリテーション学院	1名
8	1	飯南高校家庭クラブ	1名
	5	徳島大学	1名
	8～11	ボランティア（専門学校）	2名
	24	認知症実践者研修（交換研修）	1名
9	13	交換実習生	1名
10	4	交換実習生	1名
	31～18	島根リハビリテーション学院	1名
11		交換実習生	5名
12	26	認知症実践者研修（交換研修）	1名
1	23	出雲医療看護専門学校	1名
2	27	出雲医療看護専門学校	1名

4) 職員の講師派遣

9月 島根総合福祉専門学校

11月 出雲医療看護専門学校

5) 飯南病院調理業務について

・職員を1名増員し、勤務体制の見直し改善を行った。

6) デイサービスについて

①運営推進会議 7月・3月実施

②9月より、配食サービスの実施 2名利用

③夏以降利用者数の低迷があった。イベントや食事作りなどの工夫をし、少しずつではあるが利用者数の回復を図っている。

7) 監査、調査

8月 県監査（法人本部）

10月 医務室立ち入り調査（雲南保健所）

12月 労働局立ち入り調査

8) 通所・短期利用者の方に、介護用品の使い方指導及び斡旋

1月より開始

オムツ・パットの斡旋

3月末現在 45個販売 (50,550円)

平成28年度 琴引の里事業報告

1) 利用状況について

定員 施設入所 78名
短期入所 2名

	年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	稼働率
施設	27	人数	74.8	76.0	76.8	77.0	77.5	77.8	76.2	74.9	74.2	77.0	75.5	75.0	76.0	97%
	28		75.1	75.8	73.3	72.1	70.3	70.8	72.3	75.5	76.2	76.2	76.6	75.4	74.1	95%
短期	27	人数	1.37	2	0.07	1.61	1.87	0.57	1	0	0.16	0	0.25	1.1	0.8	40%
	28		1	1	1.13	1	0.94	2	1	0	0	0.94	1.21	1	0.9	45%

入所者は定員78名のところ年間平均74.1名、待機者のうち14名が入所され、退所者は合計14名あり、内訳は死亡退所12名、他施設移動1名、自宅が1名でした。

3月末現在、男性25名、女性50名、平均年齢86.7才となっています。

短期入所者は定員2名のところ年間平均1名弱の利用となりました。

<要介護認定>

年度	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	計
H28年3月	4	1	7	3	3	7	7	32
H29年3月	2	1	5	1	2	8	6	25

2) 事業活動報告について

別紙 1

3) 県内外の研修会への参加について

<施設内研修>

月	日	内 容
6	21	友愛会調理合同研修会
7	19	友愛会調理合同研修会
	27	身体拘束虐待防止研修会
8	5	身体拘束虐待防止研修会
9	21・28	身体拘束虐待防止研修会
	29	褥瘡予防研修会（講演会）
10	4	身体拘束虐待防止研修会
11	1	感染対策研修会

